

年年歳歳2021京都青年団体会議

10月16日(土) 於 ウェスティン都ホテル京都
および ZOOM によるオンライン配信

株式会社オージーファイン 小川保弘

2021年10月16日に年年歳歳2021京都青年団体会議がウェスティン都ホテル京都 比叡の間にて開催されました。機青連より私と有限会社田中製作所の田中隼人さんの2名が出向の実行委員として参加してまいりました。例年では2月に開催していましたが、新型コロナウイルスの影響で昨年度の開催は延期になりこのたびの10月の開催となりました。会場のウェスティン都ホテル京都には、各団体の代表者と実行委員が集まり式典と講演会が行われ、各青年団体の参加者には開催の様様をZOOMにてオンライン配信しました。

今年度の実行委員長輩出団体は、一般社団法人京都中小企業家同友会青年部会が務められ、『NEW NORMAL～新時代を切り拓く～』のテーマで開催いたしました。会場には京都府知事西脇様、京都市長門川様にもご臨席を賜り、11の青年団体の代表者が一堂に会して式典が行われました。また、アート作家の長坂真護氏を講師に迎え『サステナブル(持続可能)な社会をつくるために』をテーマに講演をいただきました。



長坂真護氏は、2017年に“世界最大級の電子機器の墓場”と言われるガーナのスラム街“アグボグブロー”を訪れ先進国が捨てた電子機器を燃やすことで生計を立てる人々と出会ったことをきっかけに、廃棄物をそのまま作品に取り入れたアート作品の制作に取り掛かり、「先進国の豊かな生活はガーナのスラム街の人々の犠牲のもとに成り立っている」というメッセージを先進国に伝えるとともに、売れたアートのお金を現地へ還元する「サステナブル・キャピタリズム」を提唱し活動をされているということでした。アート作家という点で、芸術的な才能が求められる特別な分野の方と思われるがちですが、社会問題が抱える負のイメージや社会的な関心を利用することで価値創造する方法を考え、経済的な面を考慮に入れ持続可能なしくみをつくるという発想は芸術分野以外でも取り入れることができそうで、後日、聴講した会員の方からも講演内容に感銘を受けるとともに自分にもできることを考えるきっかけとなった、という感想をいただきました。

講演後の引継ぎ式では、年年歳歳2022京都青年団体会議の実行委員長輩出団体が発表され、京都青年中央会が務められることになりました。辻本代表幹事には機青連の代表者として共同宣言の発表の場面などたびたび壇上に登っていただくとともに、開催までの代表者会議で年年歳歳京都青年団体会議の開催に尽力していただき大変感謝しております。私も田中さんも初の出向でしたが、他団体の方との交流により新たな人間関係もでき大変より経験になりました。貴重な機会をいただきありがとうございました。

